

2013 年度事業報告書

活動概況

活動状況

2013 年度の都市生活コミュニティセンター(以下、TCC)は、事業の柱となっている「地域福祉」とともに、「災害救援」では引き続き東日本大震災の救援活動に重点を置いて活動しました。活動形態はこれまで通り、「事業収入を得て行う事業部門」「ボランティアな活動を支援する部門」の 2 つで行いました。

事業収入を得て行う事業部門は「介護保険事業」と「施設管理事業」で、いずれも地域福祉を担います。

介護保険事業では 2013 年 4 月に新事業所「あしすと神戸北」を開設しました。ソーシャルコート神戸北の入居者への介護保険サービスの提供を中心に活動しています。またあしすと武庫之荘を中心に積極的に研修に取り組み、他事業所や地域とのつながりを深めました。

施設管理事業(ソーシャルコート神戸北)は入居者確保に貢献する管理事業を目指し、入居率 97%以上を維持しました。

ボランティアな活動を支援する部門は、「ボランティア部門」で、災害救援と地域福祉を担っています。

ボランティア部門では、2012 年度に引き続き、生活クラブ都市生活・エスコープ大阪と連携して、東日本大震災救援活動に取り組みました。

「ボランティアグループすまいる」「ミュージックセラピーグループハーモニー」など既存の団体が継続して活動したほか、セルフケアの取り組みとしての「シャンシャンの会」「ハワイアン」の会」も順調に活動を続けています。

「熟年セミナー」は講演会形式で 4 回開催し、いずれも参加者の好評を得ました。

2013 年度はサービス付き高齢者向け住宅の実現に向けての「バンセプロジェクト」会議を行いました。諸般の事情で計画は休止しましたが、この経験を汲んで 2014 年度は「地域福祉構想プロジェクト」を設置し、今後取り組むべき事業についての検討を進めていきます。

財政状況

2013 年度は 6 期連続の黒字となりました。この間、ソーシャルコート神戸北の入居者数増加に伴って訪問介護事業の利用高も伸びてきましたが、これが安定化しつつあり、今後は地域の事業展開に目を向ける必要があります。

介護保険事業では、介護職員処遇改善加算を活用した給与改善を継続して行いました。また前年度に整備した職員の退職金制度に続き、2013 年度には役員の退職功労金制度を導入しました。

介護保険事業

【介護保険法に基づく居宅サービス事業・居宅介護支援事業、障害者自立支援法に基づく障害者支援サービス事業】

2013 年度は 4 月に新事業所「あしすと神戸北」を開設しました。

訪問介護事業のサービス提供時間の合計は 17,800 時間で前年度から 1,600 時間増加、利用高は 380 万円増加し、6,983 万円となりました。

事業所別では神戸北の利用が伸びましたが、垂水が現況維持、武庫之荘は減少となりました。武庫之荘の減少は、新規の利用者も一定あったものの、介護度の高い利用者が病気や加齢等で援助を終了した影響が大きいです。

利用高が伸びたのは時間数の多い神戸北の身体介護の割合が大きいことが主な要因です。

居宅介護支援事業は武庫之荘と神戸北で行い、利用件数は1,115件で、前年度より208件増加しました。伸びの多くは介護予防訪問介護の利用者です。

こうした状況の中、より充実したサービスを提供すべく、職員を対象とした研修に積極的に取り組みました。武庫之荘を中心に続けてきたグループ研修を終了する代わりに、地域の他事業所を巻き込んだ身体介護勉強会を定期的に開催しました。また神戸北では自治会と連携した介護教室も行いました。ヘルパーだけでなく地域の福祉力の向上につながる取り組みで、「あしすと」の存在感を示すことにもなりました。

1. あしすと

・訪問介護で目標に掲げたサービス提供時間390時間/月、利用者数30人/月は達成にいたりませんでした。

・他事業所のケアマネジャーと連絡を密にし、利用者に信頼・安心して頂けるように努めました。新規契約数は年度後半より増加し17名となりました。

・援助時間数は前年度より減少しましたが(-3%)、利用者の介護度が上がったことと、訪問回数が増えたことから、事業高は前年度の水準を維持しています。

・ヘルパー不足により常勤職員がヘルパー業務に入らざるをえないことが多く、新規開拓の時間が確保できませんでした。

・介護保険外のサービスを提供する「たすけあい」の利用は前年度の70%でした。

・引き続き障害者福祉事業にも取り組みました。

・定例のあしすと会議は年12回開催し、研修と情報交換を行いました。

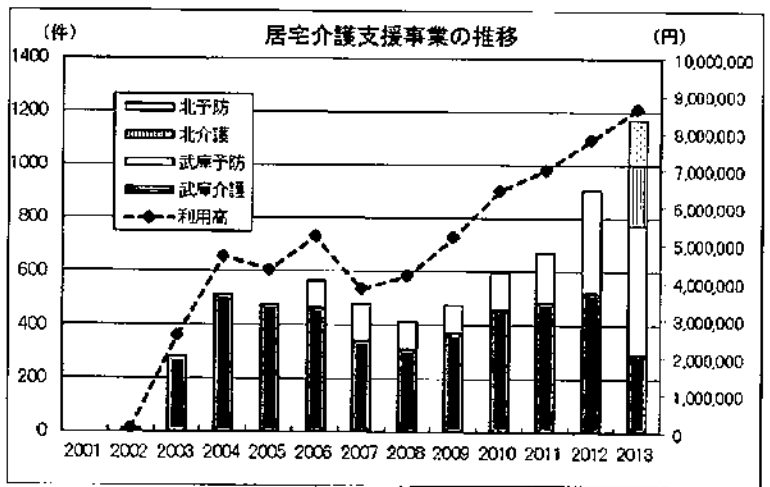
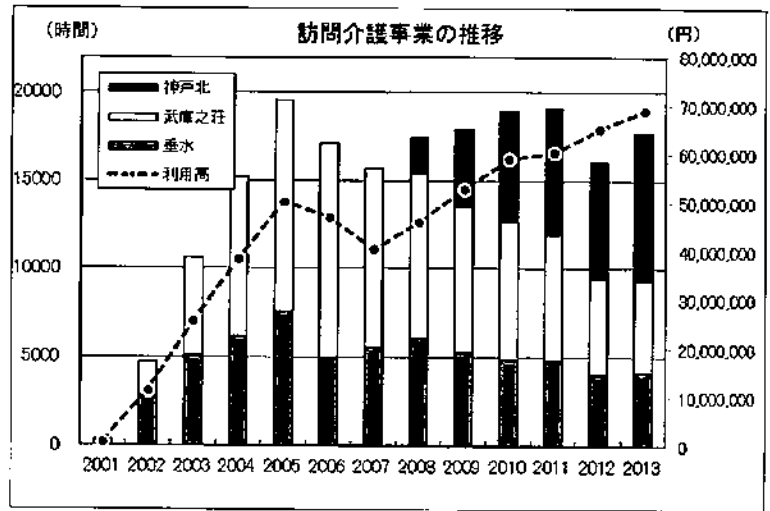
・あんしんすこやかセンター(地域包括)主宰の地域ケア会議にかかさず参加し、連携を深めました。

	訪問介護事業		たすけあい		障害者福祉事業	
	利用者数	時間数	利用者数	時間数	利用者数	時間数
合計	321	4,145	24	360.2	11	51

2. あしすと武庫之荘

1) 訪問介護

・訪問介護はサービス提供時間700時間/月を目指しましたが、平均442時間/月で達成できませんでした。新規の依頼もコンスタントにありましたが、病気や加齢等の理由で入所など継続利用の減少があり



ました。

・毎月1回「あしすと会議」を開き、事業所運営のための意見交換・報告などを行いました。またサービス提供責任者、ヘルパー、ケアマネージャー、それぞれの立場から意見を出し事例検討を行い、新たな支援方針につなげる努力をしました。

・身体介護研修会（=右写真）では、近隣の事業所にも呼び掛け、介護に関わる仲間と一緒に学ぶことで介護に対する理解や連携を深めることが出来ました。この会は定着しつつあり、次年度も引き続き開催したいと思います。



・自治会への声かけや近隣を個別に訪問することで、近くにお住まいの方からのご相談を頂き、誠実に対応し、ケアマネに連携したことで援助の輪が広がりました。

・障害福祉事業は支援なしでした。

・たすけあい事業では、昨年度からの通院の待ち時間対応など利用者の負担軽減につとめ、好評をいただきました。次年度も利用しやすい事業を目指し継続していきます。

2) 居宅介護支援

・利用者数 59 人/月。地域包括支援センターからの依頼で要支援（介護予防）の利用者の委託をたくさん引き受けました。予防の新規利用者 12 件、要介護の新規利用者 6 件でした。

・武庫之荘北会館にて地域の方向けに補聴器の勉強会を開催しました（2014年1月25日）。

・ケアマネージャーの勉強会や交流会に積極的に参加し、スキルアップに繋がりました。

・本人や家族の意向を大切に、各サービス担当者や医療との連携を図りながら、積極的に支援を行いました。また介護保険外のサービスなども提案し利用することで、利用者の QOL を高めるよう努力しました。

・あしすと神戸北開催の自治会での介護勉強会の講師として参加し、連携も深めました。

	訪問介護事業		たすけあい		障害者福祉事業		居宅介護支援
	利用者数	時間数	利用者数	時間数	利用者数	時間数	利用者数
合計	468	5,301:35	90	273:20	0	0	712

3. あしすと神戸北

・2013年4月1日に訪問介護事業所と居宅介護支援事業所を開設しました（=右写真）。

・訪問介護はサービス提供時間 700 時間/月を目指しました。ソーシャルコート神戸北のサービスを担っているため平均して需要があり、入居者様への対応中心に目標を達成することが出来ました。

・居宅介護支援は4月の開設時は1人の対応でしたが、6月から2名体制になりました。40人/月を目指しましたが、35人/月という結果でした。

今後はソーシャルコート神戸北以外の利用者確保のための営業活動が必要です。

・定例のあしすと会議を毎月開催し、ヘルパーの連携を深めました。

・ヘルパーの質を高めるために学習会・研修会に参加しました。「ハーモニー」のミュージックセラピー養成講座に2名参加したほか、病院地域連携室主宰の研修会や地域包括の研修に参加しました。

・地域（自治会）の福祉担当者と連携し、研修会を開催しました。武庫之荘が進めてきた身体介護教室



を開催し、多くの地域の方の参加があり、2014年度の活動につながりました。

	訪問介護事業		たすけあい		居宅介護支援
	利用者数	時間数	利用者数	時間数	利用者数
合計	483	8,409	191	873.6	403

4.事業所共通

1) 総会

2013年5月26日(日) 10:00～ 西宮市勤労会館

「あ・し・す・と」|あしすと武庫之荘」の2つのワーカーズが日程を揃えての5回目の総会になりました。議案の審議のあと、グループ研修の発表を行い、日頃の研修の成果を披露しました。また「あしすと神戸北」のメンバーもオブザーバで参加し、交流を深めました。

2) 季刊紙発行

2013年7月、11月、2014年2月発行(A4版2ページ)

生活クラブ都市生活の組合員、地域や利用者、他の事業所に配布して、あしすとの活動を知って頂くとともに、共に働く仲間の募集を呼びかけました。2013年度は年3回発行しました。

5. 介護保険等の高齢者福祉事業に従事する実務者研修

【地域福祉に関する事業又は活動を行う市民団体のためのリーダー養成・講習会の開催】

各事業所で開催・参加した主な研修を下記に掲げます。

- ・身体介護勉強会 あしすと武庫之荘、年4回:6月23日、9月22日、12月22日、3月16日
- ・料理研修勉強会 あしすと武庫之荘、7月7日、「高齢者向けの食事」講師:市川優子氏
あしすと垂水、10月31日、「歯茎でつぶせる調理」
- ・あんしん在宅介護講座 あしすと神戸北・武庫之荘、2月4日、筑紫が丘自治会)
- ・生活クラブ福祉視察ツアー(7月18・19日:神奈川県横浜市・平塚市、茅ヶ崎市) 4名参加
- ・神戸学院大学公開講座・社会人キャリアアップ講座(2012年5月～2013年2月、武庫之荘7人、神戸北5人参加)

施設管理事業

【地域福祉に関する事業又は活動を行う市民団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動】

1. サービス付き高齢者向け住宅「ソーシャルコート神戸北」の建物管理運営業務

ソーシャルコート神戸北の施設管理事業(受託事業)は6年目を迎えました。高齢者向け住宅の制度変更に伴い、ソーシャルコート神戸北は「サービス付き高齢者向け住宅」となっています。

2013年度は入居率45室(90%)以上の維持を目標に掲げ、年間平均97%以上の入居率を達成し、安定的に満室に近い状態になっています。入居者の方々に日常生活支援サービスを提供してきたほか、あしすと神戸北と連携して介護保険サービスの提供も行いました。



2009年度から受託した食事提供サービスも継続して行い、入居者の方々におおむね好評を持って迎えられています。食材には生活クラブ都市生活の消費材を取り入れているほか、災害救援でつながりの出来た出石町日野辺区の米を利用しています。

1) 入居者数推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居室数	49	47	48	49	48	46	50	49	49	50	50	49
入居者数	50	48	50	51	50	47	52	51	51	52	52	51
入居率	98%	94%	96%	98%	96%	92%	100%	98%	98%	100%	100%	98%

2) 行事・イベント一覧

(1) イベント

2013年4月13日 花見、6月18日梅ジュース作り、7月7日七夕会(ミュージックセラピー)、7月23日梅ジュース作り(演奏付き)、8月25日納涼会、9月16日敬老会(ミュージックセラピー)、9月23日お琴の会、11月8日BOROさんコンサート、11月25日干し柿づくり(王隠堂農園)、12月24日クリスマス、12月27日餅つき(=右写真)



2014年1月19日新年会、2月3日節分餅つき、2月11日ミュージックセラピー

(2) 定例行事

毎日：ラジオ体操

毎週：都市生活喫茶、ぬりえ、買い物ツアー

毎月：誕生日会(前ページ写真)、歌声喫茶、いきいき体操、墨彩画

3) 職員研修

真星病院の研修会参加(年2回・在宅医療)。

4) 視察協力

生活クラブ連合会と韓国の幸福中心生協、台湾の主婦連盟生協による「アジア姉妹交流会 in 関西」視察受け入れ(11月2日)。

ボランティア部門(災害救援)

1. 内外の自然災害における応急救援や生活支援、およびそのために必要な調査、連絡、人員派遣等

【自然災害の被災者の生活の救援・復興支援のための救援物資調達・配送、募金活動】

1) 東日本大震災救援活動

2011年3月11日に発生した東日本大震災について、前年度より引き続き救援活動を行いました。生活クラブ都市生活・エスコープ大阪と立ち上げた「東日本大震災支援プロジェクトチーム」で、両生協の組合員からのカンパを原資とした活動を行いました。以下に取り組んだ活動を掲げます。

(1) 現地派遣・視察

① 2013年10月26～27日

生活クラブふくしま大試食会(10月27日)に理事長・都市生活理事2人と担当職員1人、エスコープ理事長

1人の5名で訪問しました（=右写真）。

これまでのリフレッシュツアーの出会いを一期一会にせず、継続的な関係に育てていこうと、ツアーの参加者には事前に案内を送り、大試食会を私たちと参加者、参加者同士の再会の場として望みました。



② 2014年2月8～9日

理事長・担当職員の2人で福島県新地町の仮設住宅で開催している青空市に参加。生活クラブふくしまの土山専務や仮設関係者と、仮設住宅が縮小・解消されていく中での今後活動についての意見交換を行いました（=右写真）。



(2) 「青空市」支援

① 販売物支援

福島県新地町の仮設住宅で生活クラブふくしまが支援する「青空市」の応援として、生産者と協力して販売物を送付しました。当初は一年の予定で始まった「青空市」は仮設住宅住民の強い継続要望があつて継続してきましたが、住民数の減少で2014年6月で終了します。運営の一部を仮設住宅の住民自身が担い、売上も仮設自治会の運営経費としてカンパしてきたなど、仮設住宅のコミュニティ支援の役割も果たしてきました。



4月 すずかけ作業所クッキー、西宮の銘菓、5月 大矢商店こんにやく、王隠堂梅干し、6月 愛農会玉ねぎ、7月 愛農会玉ねぎ、8月 坂利製麺所そうめん、9月 豊共園梨、10月 水の子会レンコン、11月 豊共園みかん、12月 愛農会玉ねぎ、大矢商店こんにやく、1月 愛農会玉ねぎ、豊共園みかん、針江げんき米石津さんのおもち、2月 豊共園みかん(ネーブル)、新鮮しいたけ岡本下しいたけ、3月 マルニ竹内商店干物、都市生活組合員手作りいかなごぐぎ煮

(3) リフレッシュツアーの開催

阪神・淡路の経験から私たちが取り組んだリフレッシュツアーは、生活クラブ連合会の他の生協にも広がり、2013年夏は生活クラブふくしま全体で73家族215人の参加がある取り組みになりました。

① こうべ・あわじリフレッシュツアー(家族対象)

7月31～8月2日の2泊3日で「こうべ・あわじリフレッシュツアー」を実施しました。15人の定員に対し5家族14人の参加がありました。夏の企画は3回目で、これまでの感想を考慮した行程を組み、好評を頂きました。保養に加えて、参加者同士が原発や放射線の影響について忌憚なく語り合う機会にもなっています。



- 初日 しあわせの村で外遊び
- 2日目 淡路島で海水浴
- 3日目 フリープランの神戸観光(オプションツアーで六甲山訪問)

甲状腺検査のセカンドオピニオンを希望する参加者(11人)には、初日と3日目にろっこう医療生協・阪南中央病院の協力で検査を行いました。

(4) 中高生被災地スタディツアーの開催

8月20～22日の2泊3日で「中高生被災地スタディツアー」を実施しました。これからの社会を担う若者に、自分の目で東北を見て、現地で生きる人々に会い、今の被災地を感じてもらい、被災地のために、これからの社会のためにできることを考えるきっかけにしてもらうことが目的です。生活クラブ連合会の担当職員の協力を得て、連合会の復興支援活動で連携している方々を中心に訪問しました。6人の定員に対し5人の参加があり、それぞれに胸に刻むものがありました。



- 初日 高橋徳治商店(東松島市)、ママサポーターズ(女川町)
- 2日目 高校生カフェ「J」(石巻市)、大川小学校、十三浜仮設住宅(上写真)、南三陸市防災庁舎
- 3日目 宮城県亘理町トマト畑、WATALIS(亘理町)、福島県新地町

(5) 県外避難者支援

① リフレッシュカフェ(堺)

エスコープ大阪のエリアで県外避難者の集える場を設けようと、月1回のペースで開催しています。東北出身のエスコープ組合員3人と桃山学院大学の学生がボランティアとして活動。大阪で生活していくための相談が気軽にできる場、知りあいづくりの場として、機能しています。

開催場所	開催回数
梅文化会館(堺市南区)	7回

② 遊び場・カフェ(西宮)

避難者子どもが思いっきり遊べる場所として「遊び場・カフェ」を開設。「ワカモノチカラプロジェクト」(学生ボランティアグループ)と「特定非営利活動法人生涯学習サポート兵庫」の協力を得て、運営してきましたが、参加者が減少したこともあり、5月の開催を最後に活動を休止しました。

開催場所	開催回数	参加人数(延べ)
西宮市市民交流センターホール・体育室	2回	1家族2人

③ 県外避難者支援のネットワーク参加

兵庫県内で県外避難者支援を行う団体の情報交換会「避難サポートひょうご」(2013年8月28日、2014年1月7日、3月23日)、に参加。情報交換を行なっています。

(6) 被災地支援グッズの取り扱い

青空市を開催してきた福島県新地町の仮設住宅の住民が作っているエコたわし、生活クラブ連合会が共生地域創造財団を通じて支援しているママサポーターズ(宮城県女川町)・WATALIS(宮城県亘理町)、被災地NGO 協働センターの取りまとめで岩手県の被災者がつくっているまけないぞうを、被災地支援としてイベントなどで販売してきました。

(7) 支援活動報告

生協の組合員等に対して、下記の機会でポスターや口頭による活動報告を行いました。会場によっては被災地グッズの販売も行いました。

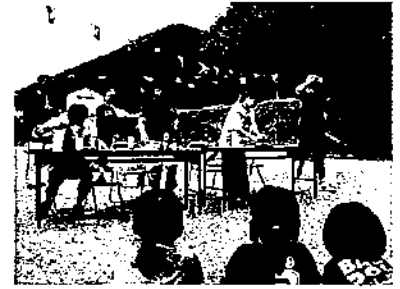
- ・あいたくて in 本部センター:2013年4月20日 生活クラブ都市生活本部センター(西宮市)
- ・生活クラブ都市生活支部のつどい:2014年3月3~7日 生活クラブ都市生活の全10支部

2) 日野辺地区との交流事業(日野辺区運動会)

【自然災害の被災者の生活の救援・復興支援のための救援物資調達・配送、募金活動】

豊岡市出石町日野辺区との交流は、2004年10月の台風23号水害の救援活動を縁に続いています。

2013年は6月2日の日野辺区大運動会にTCCのメンバー12人が遠征(=右写真)しました。



2. 自然災害における応急救援や生活支援、およびそのために必要な調査、連絡、人員派遣等

【自然災害の被災者の生活の救援・復興支援のための救援物資調達・配送、募金活動】

生活クラブ都市生活・エスコープ大阪で取り組んでいる東日本大震災支援の「独自カンパ」への協力を呼びかけました。

3. 災害復興制度に関する研究・提言等

【自然災害からの市民・住民の生活復興支援のための社会制度及び市民自身が支え合う仕組みに関する調査研究】

1) 関西学院大学災害復興研究所

池田理事が特別研究員として参加しています。

2) 日本災害復興学会

池田理事が広報委員(副委員長)として参画しています。

ボランティア部門(地域福祉)

1. ふれあい喫茶

【阪神・淡路大震災の被災住民の自主的復興活動への支援のための復興住宅訪問・茶話会の開催】

阪神・淡路大震災での青空市終了後、災害復興住宅の集会室で実施している「ふれあい喫茶すまいる」は、TCCの中でも最も長期に渡る活動の一つです。ボランティアグループすまいるが運営を担い、住民が楽しみにしている行事として地域に定着しています。

2013年度もHAT神戸脇浜地域福祉センター(神戸市中央区=写真)で毎週水曜日、ろっこう医療生協東雲診療所(神戸市中央区)で毎月最終金曜日に活動を行いました。



開催場所	開催回数	活動者数(スタッフ)	参加人数
HAT 神戸脇浜地域福祉センター	50回	243人	950人

開催場所	開催回数	活動者数(スタッフ)	参加人数
ろっこう医療生協東雲診療所	12回	24人	133人

1) 地域のボランティア活動体験(トライやるウィーク)の受入れ

兵庫県が県内の中学2年生の社会体験実習として行っている「トライやるウィーク」の受け入れを、2013年度も

実施しました。6月3日のすまいる喫茶で、神戸市立港島中学校の生徒6人を受け入れました(=前頁写真)。

2. ミュージックセラピー

【ミュージックセラピーのセッション実施事業およびミュージックセラピスト養成事業】

1) ミュージック・セラピーのセッションの実施

ミュージックセラピーグループ・ハーモニーが、「～みんなでハーモニーを考え、育てよう～」を年間テーマに、6つのグループが下表の通りの活動を実施しました。2013年度はコスモスが「大池生きがいデイサービス」(神戸市北区)を新たな活動場所に加えました(2014年3月～)。



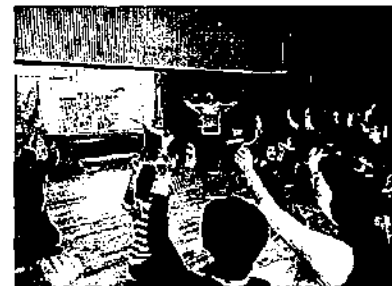
グループ名	会員	活動地域	活動回数	活動者数	対象者数
コスモス	40人	尼崎市・神戸市北区	51回	363人	1,501人
ハミング	22人	神戸市垂水区・須磨区・西区	68回	320人	1,391人
アルモニカ※1	8人	神戸市中央区	17回	68人	259人
レインボー	11人	尼崎市	5回	25人	72人
銀の星	13人	明石市・神戸市兵庫区・中央区・須磨区	27回	133人	583人
ミュージックすまいる	8人	神戸市中央区	24回	59人	241人
合計	66人※2		192回	968人	4,047人

※1 2014年3月31日付で解散。

※2 重複を除いた実人数。

2) ミュージックセラピーのセッションを担うボランティアの養成事業

2014年1月16日、2月2日、16日の3日間に施設体験1日を加えた、第17期養成講座をコミスタこうべ(神戸市中央区)で開講しました(=右写真)。前年度に作成したテキストに沿って、ハーモニースタイルがより伝わる講座内容にしました。修了生の入会につながるよう仲間づくりを全面に押し出す工夫をした結果、修了生11人全員をハーモニーの会員として迎えることができました。



3) ミュージックセラピーの効果についての調査研究

外部講師による学習会を2回開催しました(2013年6月16日、2014年3月22日)。

4) 総会

2013年5月19日(日)にコミスタこうべ(神戸市中央区)で開催しました。

セルフケアの取り組み

1. 社会的課題に関する学習会・講習会・交流会等の開催事業

【地域福祉に関する事業又は活動を行う市民団体のためのリーダー養成・講習会の開催】

1) シリーズ熟年セミナーの開催

これからの人生を考え、相互扶助の取り組みにつながるテーマのセミナーを下記のとおり開催しました。

- ① 6月1日(土)「あなたは人生の最後をどこで迎えますか…」 参加:180人

講師:長尾和宏氏(長尾クリニック院長)

- ② 7月13日(土)「老化とは何か その原因と変化のプロセスを学ぶ」 参加:100人

講師:備酒信彦氏(神戸学院大学教授)

- ③ 9月21日(土)「高齢者の、もうひとつの住まい方 そして、暮らし方の提案」 参加:60人

講師:小川泰子氏(社会福祉法人いきいき福祉会専務理事、ラポールグループ総合施設長)

- ④ 2月1日(土)「老いの質を高める 科学の視点で老化に向き合う」 参加:75人

講師:鈴木隆雄氏(独立行政法人国立長寿医療研究センター研究所長)

2. シャンシャンの会

【地域福祉に関する事業又は活動を行う市民団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動】

2012年度の熟年セミナーの修了生を中心にスタートした「シャンシャンの会」は、引き続き月2回のペースで1回2時間半の活動を行っています。相互扶助の視点から自分たちの将来を考えていくことを目的に、最初の1時間は健康体操を行い、残り1時間半は毎回その日のテーマにそった座談会を持ってきました。

開催場所	開催回数	参加人数
西宮市市民交流センター	26回	128人

3. ハワイアの会

2011年度までTCCで開催していた「ほっこりサロン」の参加者が、フラダンスを通じて仲間の輪を広げ、リフレッシュをはかる目的で立ち上げました。2013年度は当初月1回(第1日曜日午後)、10月からは月2回(第3土曜日午後を追加)のペースで、西宮市市民交流センターで活動しています。

ストレッチやツボをマッサージし心と身体をほぐす事から始め、その後日本の童謡や歌曲などに合わせて手踊りをします。手踊りは季節の歌を中心に毎月歌を考えています。ステップ練習をしてから踊りの練習をしています。



開催場所	開催回数	参加人数
西宮市市民交流センター	18回	128人

将来事業の推進に関わる取り組み

2012年度に設けた将来事業検討委員会の答申を受け、サービス付き高齢者向け住宅の実現に向けての「パンセプロジェクト」会議を行いました。TCCのメンバーに地主・建築事務所を加え、2013年6月～2014年2月まで8回の会議を持ち、施設見学会を3回実施しました。その後、建築費の高騰等から地主側よりプロジェクトの実施を数年延期したい旨の申し出があつて会議を休止しました。

この間の協議の蓄積を元に、2014年度は「地域福祉構想プロジェクト」を設置し、今後取り組むべき事業についての検討を進めていきます。

情報提供に関わる活動

1. 情報提供

【情報提供】

機関紙「News」(A4版2ページ)を毎月1回・年12回発行しました。また引き続き本法人のホームページを利用した情報発信を行っています。

2. IT 事業

①非営利活動・コミュニティビジネス等公益的活動に関するホームページの運営等

【非営利活動の情報発信力の強化を支援する事業】

印刷事業は新規受注を停止し、関連団体等のニュースレターの作成のみ継続しています。ホームページ事業は原則として、現在管理しているサイトの管理業務のみ継続受託しました。

②その他の事業

【その他の事業～ホームページ制作管理事業】

IT 事業と同内容の事業ですが、相手先が NPO 等の場合は特定非営利活動に関わる事業として分類し、それ以外の場合はその他の事業に分類しています。2013 年度は市民派の政治家等のウェブサイトやニュースレターの製作を行いました。

他団体との連携

【地域福祉に関する事業又は活動を行う市民団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動】

兵庫県南部の市民活動団体と様々な連携・協力関係を築いています。2013 年度は以下のネットワーク、団体に役員として参画しました。

▽ひょうご市民活動協議会(運営委員=福田)▽にしのみや NPO 協会(理事=池田)▽ひょうご・まち・くらし研究所(研究員=池田)▽災害看護支援機構(理事=池田)▽ゆうあいサロン(監事=池田)

組織

1. 会議

1) 総会

①2013 年度通常総会

日時 2013 年 6 月 15 日(土) 13:30～14:35

会場 西宮市市民交流センター

出席者 正会員 30 人(うち書面議決書 12 人) ※正会員総数 36 人

審議事項 第 1 号議案 2012 年度事業報告及び活動計算承認の件(全員異議なく承認可決)

第 2 号議案 2013 年度事業計画及び活動予算承認の件(全員異議なく承認可決)

第 3 号議案 常勤役員退職慰労金規定承認の件(全員異議なく承認可決)

第 4 号議案 役員を選任の件(満場一致で承認)

記念企画:「福島を離れて 3 年目を迎えたいま」

米沢市避難者支援センターおいで事務長 上野寛さん講演会

②2013 年度臨時総会

日時 2014 年 3 月 15 日(土) 13:00～13:06

会場 都市生活コミュニティセンター会議室

出席者 正会員 31 人(うち代理人出席 1 人、書面議決書 17 人、) ※正会員総数 36 人

審議事項 第 1 号議案 定款一部変更の件(全員異議なく承認可決)

2) 理事会

	開催日	主な審議事項、協議事項、決定事項	出席者
第 1 回	2013 年 4 月 27 日	事業計画について、期末手当の支給について	理事 9 名、事務局 2 名
第 2 回	2013 年 5 月 18 日	総会(議案・役員)について、将来事業計画の今後について	理事 7 名、事務局 2 名
第 3 回	2013 年 6 月 15 日	2013 年度総会議案	理事 8 名、事務局 2 名
第 4 回	2013 年 7 月 20 日	理事長・副理事長選任、組合員拡大への協力依頼決定	理事 9 名、事務局 2 名
第 5 回	2013 年 8 月 17 日	東日本大震災支援、ソーシャルコート神戸北の運営について	理事 9 名、事務局 2 名
第 6 回	2013 年 9 月 21 日	就業規則の改定について、独自カンパの呼びかけについて	理事 9 名、事務局 2 名
第 7 回	2013 年 10 月 19 日	東日本大震災支援、パンセプロジェクトについて	理事 9 名、事務局 2 名
第 8 回	2013 年 11 月 16 日	東日本大震災支援プロジェクトチーム	理事 9 名、事務局 2 名
第 9 回	2013 年 12 月 21 日	東日本大震災支援、パンセプロジェクトについて	理事 8 名、事務局 2 名
第 10 回	2014 年 1 月 18 日	東日本大震災支援、事務所移転について	理事 8 名、事務局 2 名
第 11 回	2014 年 2 月 15 日	東日本大震災支援、ソーシャルコート神戸北の運営について	理事 9 名、事務局 2 名
第 12 回	2014 年 3 月 15 日	東日本大震災支援、あしすとワーカーズのあり方について	理事 8 名、事務局 2 名

会場はいずれも都市生活コミュニティセンター会議室。

3) 管理者会議

介護保険事業を運営するための管理者会議を毎月 1 回(年 12 回)開催しました。

構成メンバーは、介護福祉事業担当理事(佐々木)=議長、あ・し・す・と管理者(内橋)、あしすと武庫之荘管理者(橋本/訪問介護、落合/居宅介護支援)、事務局長(福田)です。

4) ソーシャルコート神戸北運営会議

ソーシャルコート神戸北を運営するための会議を毎月1回(年12回)開催しました。

構成メンバーは、理事長(林)、ソーシャルコート神戸北施設管理運営者(池田)、同サービス統括責任者(高岡・1月から)、副理事長(佐々木)、事務局長(福田)、事務局(小松、松井一郎)です。

5) ボランティア部会

TCCのボランティア活動の発展強化に重点を置いた議論と企画を行うための会議を毎月1回(年12回)開催しました。構成メンバーは、理事長(林)、ボランティア担当理事(岡部)、同理事(小副川・6月まで)、同理事(松井初代・7月から)、事務局長(福田)、事務局(小松)です。

6) パンセプロジェクト会議

サービス付き高齢者向け住宅の実現に向けて、2013年6月～2014年2月まで8回の会議を持ち、施設見学会を3回実施しました。TCC側の構成メンバーは、理事長(林)、副理事長(佐々木)、ソーシャルコート神戸北施設管理運営者(池田)、あしすと武庫之荘管理者(橋本、高橋)、事務局長(福田)、事務局(松井一郎)です。

2. 会員

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	増減
正/個人	30	32	36	32	35	35	34	32	-2
正/団体	6	6	5	5	5	4	4	4	+0
賛助/個人	185	190	193	207	227	198	189	191	+2
賛助/団体	24	20	20	11	12	8	5	3	-2
合計	245	219	254	255	279	245	232	230	-2

※会員数は原則として総会開催時点で集計しています。

認定NPOの認定要件の一つに「パブリックサポートテスト」があります。これは、NPOがどれだけ広く一般から支援されているかを判断するもので、年間3,000円以上の寄付者(TCCの場合は賛助会員も寄付者に該当)が2年間の平均で100人/年以上いることが条件となっています。

2012年度総会で会費改定を行い(¥2,000/年→¥3,000/年)、2012年度は191人、2013年度は183人の方に賛助会員の会費を頂きました。パブリックサポートテストの要件を満たすことが出来たので、他の要件も整備の上、2014年度に申請を行う予定です。

3. 役員

	氏名	他の団体の兼務状況	当法人における経歴
理事長	林 佳子	生活クラブ生活協同組合都市生活特定監事	'11.7 理事 '11.7 理事長
副理事長	佐々木 京子		'03.11 理事 '07.7 理事長兼務介護福祉事業担当部長 '11.7 副理事長兼務介護福祉事業担当部長
理事	池田 啓一	NPO 法人災害看護支援機構理事 NPO 法人にしのみや NPO 協会理事 NPO 法人ひょうご・まち・くらし研究所理事	'01.8 理事 '01.8 理事兼務事務局長(～'09.3) '09.4 理事兼務高齢者専用賃貸住宅管理責任者

		NPO 法人ゆうあいサロン監事	
理事	石川 雅可年	生活協同組合エスコープ大阪専務理事	'07.7 理事
理事	岡部 貞紀子	ボランティアグループすまいる代表 ミュージックセラピーグループハーモニー副代表	'05.7 理事
理事	小副川 久代	ミュージックセラピーグループハーモニー	'11.11 理事(～'13.6)
理事	松井 初代	ミュージックセラピーグループハーモニー代表	'13.7 理事
理事	角田 学	生活クラブ生活協同組合都市生活専務理事	'01.8 理事
理事	小玉 智子	生活クラブ生活協同組合都市生活理事	'12.7 理事
理事	福田 和昭		'09.4 事務局長 '09.11 理事兼務事務局長
監事	井上 肇	生活クラブやまがた生活協同組合特別顧問 特定非営利活動法人結いのき専務理事	'02.6 監事
監事	土隠堂 政見	農事生産法人有限会社土隠堂農園代表	'02.6 監事

4. 事務局

1) 事務局体制

事務局スタッフ	福田 和昭 吉田 英津子	事務局長 出納責任者
	小松 高志(生活クラブ都市生活) 松井 一郎	介護保険事業の事務、地域福祉活動のサポートなど 事務補助

2) 事務所所在地

旧事務所	兵庫県西宮市津門西口町 7-3
新事務所	兵庫県西宮市津門西口町 12-6 サンハイツ名田 B-1

当法人の設立以来使用してきた事務所は生活クラブ都市生活から土地・建物をお借りしていましたが、生活クラブ都市生活がこれを売却したことに伴い、新事務所に移転しての業務を行っています。2014年1月に新事務所を選定し、2月下旬から新事務所での業務を開始。3月15日の臨時総会で定款上の住所を変更し、3月末で旧事務所を撤収しました(旧事務所は2014年5月に解体)。

活動計算書

2013年4月1日から2014年3月31日まで

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	730,000		730,000
賛助会員受取会費	585,500		585,500
2. 受取寄付金			
受取寄付金	0		0
3. 受取助成金			
受取助成金	0		0
4. 事業収益			
ホームヘルプサービス事業収益	965,611		965,611
訪問介護事業収益	71,269,710		71,269,710
居宅介護支援事業収益	8,922,743		8,922,743
障害者福祉サービス事業収益	100,507		100,507
地域福祉援助事業収益	52,810,779		52,810,779
情報発信力強化支援事業収益	1,408,524		1,408,524
印刷物制作事業収益		85,155	85,155
ホームページ制作・管理事業収益		12,000	12,000
5. その他収益			
受取利息	6,388		6,388
雑収入	238,100		238,100
経常収益計	137,037,862	97,155	137,135,017
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	73,986,446		73,986,446
法定福利費	5,490,684		5,490,684
退職給付費用	705,000		705,000
通勤費	2,047,599		2,047,599
福利厚生費	147,507		147,507
人件費計	82,377,236		82,377,236
(2) その他経費			
売上原価	8,848,803		8,848,803
業務委託費	1,872,104		1,872,104
諸謝金	116,145		116,145
印刷製本費	120,000	56,100	176,100
旅費交通費	1,213,580		1,213,580
車両費	1,054,936		1,054,936
通信運搬費	2,062,729		2,062,729
消耗品費	2,700,338		2,700,338
消耗什器備品費	112,381		112,381
修繕費	225,401		225,401
水道光熱費	6,770,779		6,770,779
地代家賃	3,040,020		3,040,020
賃借料	1,314,964		1,314,964
減価償却費	109,702		109,702
保険料	800,795		800,795
諸会費	12,000		12,000
負担金支出	325,054		325,054
租税公課	41,300		41,300

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
研修費	360,734		360,734
貸倒引当金繰入	8,046	110	8,156
支払手数料	622,862	400	623,262
新聞図書費	81,051		81,051
広告宣伝費	261,619		261,619
交際費	7,554		7,554
雑費	309,920		309,920
その他経費計	32,392,817	56,610	32,449,427
事業費計	114,770,053	56,610	114,826,663
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	9,120,000		9,120,000
給料手当	2,339,881		2,339,881
法定福利費	2,562,567		2,562,567
退職給付費用	56,000		56,000
通勤費	1,013,022		1,013,022
課税通勤費	164,305		164,305
福利厚生費	9,409		9,409
人件費計	15,265,184		15,265,184
(2) その他経費			
業務委託費	228,573		228,573
諸謝金	3,249		3,249
会議費	74,356		74,356
旅費交通費	379,954		379,954
車両費	41,032		41,032
通信運搬費	207,811		207,811
消耗品費	480,709		480,709
修繕費	5,000		5,000
水道光熱費	353,595		353,595
地代家賃	931,669		931,669
賃借料	221,000		221,000
減価償却費	4,549		4,549
保険料	510,460		510,460
諸会費	8,250		8,250
負担金支出	11,429		11,429
租税公課	444,169		444,169
研修費	3,811		3,811
支払手数料	211,411		211,411
新聞図書費	44,868		44,868
広告宣伝費	16,694		16,694
交際費	14,120		14,120
雑費	49,792		49,792
その他経費計	4,246,501	0	4,246,501
管理費配賦	▲ 13,828	13,828	
管理費計	19,497,857	13,828	19,511,685
経常費用計	134,267,910	70,438	134,338,348
当期経常増減額	2,769,952	26,717	2,796,669
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計			
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計			
経理区分振替額	26,717	▲ 26,717	
税引前当期正味財産増減額	2,796,669		2,796,669
法人税、住民税及び事業税	914,448		914,448
当期正味財産増減額	1,882,221		1,882,221
前期繰越正味財産額	30,097,784		30,097,784
次期繰越正味財産額	31,980,005		31,980,005

貸借対照表
2014年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	27,215,865		
未収金	17,348,368		
棚卸資産	232,253		
前払金	634,872		
立替金	63,315		
貸倒引当金	▲ 116,692		
流動資産合計		45,377,981	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
車両運搬具	62,949		
有形固定資産計	62,949		
(2)投資その他の資産			
保証金	154,000		
敷金	50,000		
長期前払費用	768,771		
投資その他の資産計	972,771		
固定資産合計		1,035,720	
資産合計			46,413,701
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	735,974		
未払金	10,645,356		
前受金	662,774		
預り金	2,389,592		
流動負債合計		14,433,696	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			14,433,696
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		30,097,784	
当期正味財産増減額		1,882,221	
正味財産合計			31,980,005
負債及び正味財産合計			46,413,701

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は個別法によっています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
法人税法の規定に基づいて、有形固定資産は定率法で、無形固定資産は定額法で償却をしています。
ただし、当期末で無形固定資産はありません。
- (3) 引当金の計上基準
・貸倒引当金
債権の貸倒損失に備えるため、税法上の収益事業に係る債権について、法人税法の繰入限度額相当額を計上しています。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税は税抜経理により処理しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下のとおりです。

(単位：円)

科目	特定非営利活動にかかるとる事業			その他の事業	合計
	介護保険事業	施設管理事業	印刷・ホーム ページ/ホーム ヘルプサービス 事業	企業等対象印 刷・ホームペー ジ事業	
I 経常収益					
1. 受取助成金					
2. 事業収益					
ホームヘルプサービス事業収益			965,611		965,611
訪問介護事業収益	71,269,710				71,269,710
居宅介護支援事業収益	8,922,743				8,922,743
障害者福祉サービス事業収益	100,507				100,507
移動支援事業収益					
地域福祉援助事業収益		52,810,779			52,810,779
情報発信力強化支援事業収益			1,408,524		1,408,524
印刷物制作事業収益				85,155	85,155
ホームページ制作・管理事業収益				12,000	12,000
3. その他収益					
受取利息	4,412				4,412
雑収入		175,945			175,945
経常収益計	80,297,372	52,986,724	2,374,135	97,155	135,755,386
II 経常費用					
(1) 人件費					
給料手当	30,777,844	42,897,612	310,990		73,986,446
法定福利費	2,700,500	2,790,184			5,490,684
退職給付費用	384,000	321,000			705,000
通勤費	348,612	1,696,987			2,047,599
福利厚生費	54,366	93,141			147,507
人件費計	34,265,322	47,800,924	310,990		82,377,236
(2) その他経費					
売上原価		8,848,803			8,848,803
業務委託費		1,794,104			1,794,104
諸謝金		26,572			26,572
印刷製本費			120,000		120,000
旅費交通費	1,088,437	110,234		56,100	1,254,771
車両費	489,035	565,901			1,054,936
通信運搬費	1,271,788	525,260	265,681		2,062,729
消耗備品費	112,381				112,381
消耗品費	1,172,273	1,545,761	304		2,718,338
修繕費	88,501	136,900			225,401
水道光熱費	442,692	6,328,087			6,770,779
地代家賃	3,040,020				3,040,020
貸借料		1,206,400			1,206,400
減価償却費	4,893	104,899			109,792
保険料	678,545	122,250			800,795
諸会費	12,000				12,000
負担金支出	3,430	321,624			325,054
租税公課	33,600	7,700			41,300
研修費	324,896	35,836			360,734
貸倒引当金繰入	2,305	3,093		110	8,156
支払手数料	429,462	182,798	10,602	460	623,262
新聞図書費		81,051			81,051
広告宣伝費	159,619	102,000			261,619
交際費		7,554			7,554
雑費	5,831	304,089			309,920
その他経費計	9,359,618	22,362,908	414,154	56,610	32,193,290
事業費計	43,624,940	70,163,832	725,144	56,610	114,570,526
管理費配賦	11,427,705	7,516,301	337,899	13,828	19,295,733
経常費用計	55,052,645	77,680,133	1,063,043	70,438	133,866,259
当期経常剰余増減額	25,244,727	▲ 24,693,409	1,311,092	26,717	1,889,127

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具	177,200			177,200	114,251	62,949
投資その他の資産						
保証金	154,000			154,000		154,000
敷金		50,000		50,000		50,000
長期前払費用	237,500	914,604	383,333	768,771		768,771
積立保険金	285,740		285,740	0		0
合計	857,440	964,604	672,073	1,149,971	114,251	1,035,720

* 積立保険金の減少は長期前払費用に科目訂正したものです。長期前払費用の取得にはこの分が含まれています。

財産目録

2014年3月31日現在

特定非営利活動法人都市生活コミュニティセンター

科目・摘要	金額 (単位: 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 本部 手元有高	347,887		
現金 あしすと神戸北 手元有高	7,179		
現金 ソーシャルコート神戸北 手元有高	456,300		
普通預金 三井住友銀行西宮支店2口座	20,164,198		
通常貯金 西宮駅前郵便局	4,008,888		
振替口座 西宮駅前郵便局	2,231,413		
未収金 兵庫県国民健康保険団体連合会	11,397,680		
未収金 西宮市	51,233		
未収金 喜楽苑他4件	375,177		
未収金 (株)ソーシャルライフ ひまわり保育園水光熱費	50,000		
未収金 居宅介護サービス利用者106名	1,155,930		
未収金 ソーシャルコート神戸北入居者	3,920,472		
未収金 日本災害復興学会他5件	234,525		
未収金 ホームヘルプサービス利用者	150,751		
未収金 未来へつなぐ尼崎の会	12,600		
棚卸資産 ソーシャルコート神戸北食事サービス食材	232,253		
前払金 兵庫労働局	422,372		
前払金 貸貸事務所礼金次年度償却分2件	212,500		
立替金 (株)ソーシャルライフ 修繕費	6,510		
立替金 TMO尼崎他6件 ドメイン料	53,025		
立替金 未来へつなぐ尼崎の会	3,780		
貸倒引当金	▲ 116,692		
流動資産合計		45,377,981	
2 固定資産			
車両運搬具 自動車4台	62,949		
保証金 駐車場	54,000		
保証金 あしすと神戸北事務所	100,000		
敷金 本部事務所	50,000		
長期前払費用 本部事務所礼金	104,167		
長期前払費用 常勤役員生命保険	664,604		
固定資産合計		1,035,720	
資産合計			46,413,701
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金 生活クラブ生活協同組合都市生活	376,497		
買掛金 その他	359,477		
未払金 あしすと武庫之荘ヘルパー給与	1,058,490		
未払金 ソーシャルコートスタッフ給与	2,683,983		
未払金 あ・し・す・とヘルパー給与	849,035		
未払金 役員報酬等	533,802		
未払金 エスコープ大阪 甲状腺検査交通費	16,250		
未払金 豊共園 東日本大震災被災者支援青空市用みかん	54,584		
未払金 法人税	209,400		
未払金 法人県民税、事業税、地方法人特別税	93,300		
未払金 法人市民税	243,300		
未払金 消費税	350,800		
未払金 ソーシャルコート厨房スタッフ給与	794,451		
未払金 その他	3,757,961		
前受金 ソーシャルコート神戸北入居者	662,774		
預り金 東日本大震災救援カンパ	1,989,245		
預り金 源泉所得税	102,147		
預り金 その他	298,200		
流動負債合計		14,433,696	
負債合計			14,433,696
正味財産			31,980,005

東日本大震災支援活動会計報告

2013年4月1日～2014年3月31日

収入の部	金額(単位:円)		適用
カンパ	609,707	268,500	エスコープ大阪・独自カンパ
		311,000	生活クラブ都市生活・独自カンパ
		26,707	生活クラブ都市生活 つながるカンパ
		3,500	その他
生活クラブ連合会支援金	617,400		こうべ・あわじリフレッシュツアー(7～8月・親子)飛行機代支援
被災地グッズ売上	62,500		
リフレッシュツアー参加費	54,000		こうべ・あわじリフレッシュツアー参加費(7～8月・親子)
スタディツアー参加費	187,800		中高生被災地スタディツアー参加費(8月)
前年度繰越	3,596,815		
	5,128,222		

支出の部	金額(単位:円)		適用
現地派遣・視察	378,436	285,014	生活クラブふくしま大試食会(10月)
		93,422	新地町仮設住宅訪問(2014年2月)
長根水産生産者交流会	53,390		長根水産生産者交流会(2014年4月)
リフレッシュツアーの開催	1,148,978	4,860	大阪・兵庫リフレッシュツアー(2013年3月・子ども)
		1,144,118	こうべ・あわじリフレッシュツアー(7～8月・親子)
スタディツアーの開催	571,235		中高生被災地スタディツアー(8月)
「青空市」支援	261,422		新地町仮設住宅の販売物支援
県外避難者支援	64,791	1,920	遊び場・カフェ(西宮)
		57,991	リフレッシュカフェ(堺)
		4,880	広域避難者支援者会合交通費
被災地グッズ購入	63,410		
甲状腺検査支援	16,250		福島の子どもと知る権利を守る2生協が関わる甲状腺検査活動
雑費	1,565		通信費・振込手数料
次期繰越金	2,568,745		
	5,128,222		